

**鷲別機関区及び室蘭総合鉄道部運転課の存続のたたかい****自治体 議員要請を展開!**

〈室蘭市議会 佐藤潤議員に要請文を手渡す〉

会社が昨年の秋に鷲別機関区及び室蘭総合鉄道部運転課を廃止する考えを示し、青年部では両職場で働く青年部員の現地雇用と北海道の安全で安定的に鉄道貨物輸送を支え、発展させるために1年前から全国でこの問題について全青年部員で学習し広め、4月から5月にかけて「鉄道貨物輸送の全国ネットワークの維持・拡大と安全輸送確保のため、鷲別機関区及び室蘭総合鉄道部運転課の存続を強く要請する」署名を青年部員の家族や友人、さらにJR総連青年協議会の仲間や自治体の方々にもご協力いただき、この問題や状況

を幅広く知って頂くことができました。以降、室蘭民報社をはじめ多くの新聞などで取り上げられ、地元の登別市、室蘭市、伊達市を中心に自治体でも大きな問題となっています。

青年部では、12月7日に連合登別、登別市議会議員、室蘭市議会議員へ鉄道貨物輸送や自治体の発展を守るため、両基地の存続に向けて協力を要請しました。連合登別の須貝会長からは「町ぐるみで基地の存続に向けて取り組んでいく。今後も協力していく。」と引き続き関係自治体に働きかけを行っていく考えが出されました。さらに、高橋正美 登別市議会議員と佐藤潤 室蘭市議会議員から「この問題は自治体としてきちんと議論されている。今月の議会で決議文を出し基地の存続に向けていきたい。室蘭港は災害に強く、鉄道と港を活かして発展させていきたい。」と私たちの要請を真剣に受けて頂きました。



私たちは将来に亘って鉄道貨物を発展させ、全国の物流や自治体の発展を守り、社会的責任を果たしていかなければなりません。これからも全青年部員で鷲別機関区及び室蘭総合鉄道部運転課の両基地の存続に向けて粘り強くたたかおう!!